

ひよこ組

今月の目標 ◎ 天候の良い日は戸外に出かけ、体を動かしたり探索を楽しむ。

先月の運動会では、お忙しい中ご参加頂き、ありがとうございました。初めはいつもと違う雰囲気子どもたちも驚き硬い表情でしたが、ひよこ組の競技では子ども達の可愛い姿に観客の方たちも自然と笑顔になり、7名全員が参加出来たことを私達保育士も嬉しく思いました。

ひよこ組の《朝の集まり》では、保育士が「さあ、朝のお集まりを始めるよ」と声を掛けると、いつもの場所に自ら座りに来て、保育士の手遊びや絵本を見るのを楽しみに待つ子ども達の姿が見られるようになりました。

又、室内では新聞紙をビリビリ破ったり、丸めたりする遊びから少し固めの画用紙を破る遊びに発展し、保育士が少し切れ目を入れると上手に両手を使って破れるようになった子もいます。



これからも天候のよい日は戸外に出て秋の自然を感じたり、室内遊びではクレヨン画や、手先を使った遊びをどんどん取り入れていきたいと思います。

(山田)

今月の目標

1、戸外に出て体を動かし元気いっぱい遊ぶ。

2、手洗いなどをこまめに行い健康管理には十分に気をつける。

りす組

秋らしい季節になりました。少し距離を長くして秋の自然に触れながらゆったりとお散歩を楽しんでいます。お散歩に出かけることを伝えると帽子入れから帽子を出し準備する姿が見られるようになり「行きたい」という子ども達の思いが伝わってきます。室内ではままごとコーナーが人気で「どうぞ」「あつと(ありがとう)」など子供達で会話している姿が見られるようになりました。大人が仲立ちとなり一人一人と言葉のやりとりを大切に、丁寧にかかわっていきたく思います。製作コーナーではクレヨンや絵の具を使って万国旗作りをしました。保育士が準備をしていると「何しとんの?」と興味津々で見に来る子もいて、みんなで楽しく伸び伸びと描くことができました。これからも「やってみたい」と思う子ども達の気持ちを大切に取り組みしていきたいと思ひます。11月から新しいお友達が増えます。

梅田心花ちゃんです。

(石田)



うさぎ組

今月の目標 ◎ 秋の自然に触れながら遊ぶことを楽しむ。

10月5日に運動会がありました。楽しんできた洗濯ごっこを、お母さんやお父さんに見てもらったり一緒にしたりして、嬉しそうな姿や誇らしげな姿が見られました。また、運動会が終わった後にも運動会ごっこをしたり、当日を振り返りながら描画を楽しんだりしました。沢山のご参加、ご協力をいただき本当にありがとうございました。

最近では製作コーナーではさみを使ってみたり、給食やおやつの際に配膳の一部を自分でしたりと様々な活動に取り組んでいます。散歩では、ポキポキ広場のように少し遠い所へも出かけ、秋の色探しや木の実探しなどを楽しんでいます。新しいことに挑戦し、自分でできると嬉しそうに目を輝かせている子ども達です。11月にはお出かけを計画していますので、色々な所で色々な「秋」を見つけ、見つけた物をお部屋に飾ったり製作に使ったりして楽しんでいけたらと思っています。

(落合)



幼児・クラスの様子 (11月号)

くぬぎ組

今月の目標 ◎ 色々な素材に触れ、工夫して遊ぶ



秋が深まり、少しずつ肌寒くなってきました。子どもたちは散歩に出かけると、「柿がなっとる!」「赤とんぼおった!」と秋の訪れを発見したり、オナモミ(ひつつきむし)という秋の草花を見つけひつつけあいをしたり、どんぐりを拾ったり秋を身近に感じ、楽しんでいました。中でも、「赤とんぼの本当の名前は何か?」のクイズをだした時の子どもたちの会話がとても可愛く、「トンボと違うの?」「違うよ。夕焼けトンボやで!」「そっかあ〜」と体が赤いから夕焼けを連想し『夕焼けトンボ』と呼ぶ姿がありました。他の子どもたちもお気に入りの名前になり、赤とんぼを見るたび、「あ!夕焼けトンボや!」と嬉しそうでした。

先月は年齢別の機会が2週間ありましたが、離れて生活している分、年長さんは年中、年少さんが気になるようでお部屋に「なにしとるの?」と声をかけにきてくれました。母集団は異年齢ですが、同年齢の横の繋がりだけでなく、異年齢の縦の繋がりが見えた年齢別の生活となり嬉しく思いました。

とちのき組



今月の目標 ◎ 身近な自然に触れ、興味、関心を持つ

◎ 気候に合わせて、衣類を調節しながら、戸外で積極的に遊ぶ

10月5日には、子ども達の楽しみにしていた運動会がありました。子ども達は、意欲的に練習に取り組み、当日も元気いっぱい参加することができました。運動会後は、園庭でルールをする子の姿が多く、年長児に憧れを持った年少、年中児も積極的に参加していました。年長児はルールや走り方を教えたりと頼もしい姿もありました。年齢別の活動では、散歩や製作などを通して同年齢の友達とたくさん関わることができ、異年齢とはまた違った関わりをすることができました。異年齢に戻ると、年少、年中、年長児が自然に混ざって遊ぶ姿がありました。年下の子が年上の子を必要としているだけでなく、年上の子も年下の子との関わりの中で、自分の居場所をしっかりと持つことができ互いに必要としあっている感じが、子どもたちから伝わってきて私達も嬉しく思いました。

さくら組

今月の目標 ◎ 秋の自然に触れながら戸外で体を動かす

運動会も終わり、子どもたちもまたひとつ大きく成長したように感じます。運動会を通して、年長児は自分の仕事に責任を持って取り組むことができ、年少児・年中児は「ルールすごかったな!」「ライオンになったらできる?」など年長児への、憧れの気持ちが高まってきている様子です。運動会後、クラス対抗で運動会ごっこをしました。異年齢ならではのあたたかい雰囲気の中、年長児が年少児に教える姿がありクラスの子と協力し合う中で、またクラスの仲が深まりました。



10月は年齢別で過ごす日も多かったのですが、その中でも年長児が年少児のことを気に掛ける様子や、年少児・年中児の子もクラスの子を見かけると、嬉しそうに自分から話しかける姿もあります。このような姿を大切にしながら、子ども同士のかかわりをさらに深めていければと思います。